

指定用途かい離エリア（東恋ヶ窪一丁目～五丁目の各一部）のまちづくりの検討について

○まちづくりの検討の目的

国分寺市では、国分寺市総合ビジョン（平成 29 年 3 月）において「魅力あふれ ひとつながる 文化都市国分寺」を未来のまちの姿とし、「心安らぐ快適なまち」を都市像の一つとして掲げています。また、国分寺市まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成 27 年 10 月）では「人口減少の克服、魅力ある国分寺市の創生」を目標として掲げ、定住化の促進につながる都市機能整備を具体的な施策の一つとして位置付けています。

そうした中、市内の準工業地域を指定しているエリアの一部において、住居系の土地利用が進み、用途地域と現況の土地利用にかい離が発生しています。準工業地域では、工場以外に大規模な商業施設や事務所、遊戯施設等、多岐に渡る建物用途が立地可能な状況となっておりますが、現況の土地利用を踏まえ、現況の環境にふさわしくない土地利用を抑制し、本市の特徴である住宅都市としての質を向上させることで、定住化の促進を図るためのまちづくりを進めます。

○検討の進め方

検討にあたっては、指定用途かい離エリアのまちづくりの重要な担い手となる地域の皆さまのまちづくりに関するご意見を伺います。

これまで、まちづくりに関する地域の皆さまのご意見を伺うため、アンケート調査や地域懇談会の開催、関係団体等へのヒアリングなどを行っており、今後も適宜行ってまいります。

○検討の経過・今後の予定

